

令和7年度【2025年度】とうきょう すくわくプログラム活動報告書

園名	荒川区立西日暮里保育園
----	-------------

1. 活動のテーマ

<テーマ>

<自然>

各年齢ごとに水・草花、虫、風、砂 土など身のまわりの事象を通し探求活動を実践していく。

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)

園庭を有効活用し、今まである自然に焦点をあてると共に新たな取組として水の生き物を育てみることで、子どもたちの自然への興味・関心を深めていく。

2. 活動スケジュール

- 5月 すくわくPTを発足し、各年齢ごとにテーマを決める。
- 6月～ 保育者は子どもの興味・関心を探るため問い掛けやアプローチを行う探求活動が広がるような、素材や道具を身近にあるものから準備する。活動中の子どもの言葉、表情などを記録し保育を振り返りかえる。講師をお呼びし、園児・保育士ともに学びを深める。記録をもとに、子どもの関心や発見、表現を振り返り新たな環境を考察していく。
- 12月～ 今までの活動をまとめ、保護者と共有していく壁新聞等を作成する。
- 1月 活動報告書を作成する。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)

【園庭】ビオトープ舟形 花の種 プランター スマート望遠鏡 デジタルカメラ 水中カメラ 虫とり網窓

【保育室】 風鈴 シフォン布 風車 図鑑 絵本等

【発見・共有】スクリーン・プロジェクター 模造紙 マジック等

4. 活動の内容

- 5、6月 春の自然に触れて遊ぶ。
草花を植える。虫探しやアゲハ蝶・だんご虫等を飼育し観察する。
砂、泥に触れて遊ぶ。
- 7、8月 夏の自然に触れて遊ぶ。
夏の雲、風を五感で表現してみる。
水、氷、色水等感触遊びを楽しむ。
野菜の収穫し、野菜の形や匂いに触れ関心を深める。
- 9～1月 秋や冬の自然に触れて遊ぶ。(落ち葉、実になる木、木の実、木枯らし、霜柱等)
自然物を使い、造形遊び、絵画遊び、表現遊びを楽しむ。
光や影や音で遊ぶ。(身の周りにある物で)

※各年齢ごとのテーマに沿い、発達段階に見合った活動を通して、自然物に触り五感で楽しむ。感じたことを言葉にする。想像力や思考力を高める。友達や保育士と遊びや発見を共有していく。

<p>テーマ「自然（水）」（設定理由）</p> <p>子どもたちが大好きな「水」を使った様々なあそびを通して、水に親しんだり、身近にある水の特性や見た目、状態の変化に疑問を感じたり、興味をもつ。</p>		
令和7年6月～令和8年3月	対象児：全園児	西日暮里保育園
<p><活動のために準備したもの></p> <ul style="list-style-type: none"> ・色水(クレープ紙、絵具を使用したもの) ・氷 ・泥遊び用玩具 		<p><環境設定></p> <p>子どもたちの興味のあるもので素材を用意した。</p>
<p>★活動内容 子どもの姿</p> <p>○水や氷に触れる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水をすくったり、こぼしたり、たらいの水の水面を手でたたいたり、氷をつかんだりすくったりして感触や音を楽しむ。 ・色水を凍らせたものを画用紙の上で動かすと、解けていき水が出てくる様子を不思議そうに見る。 ・冬には園庭で氷を作る実験を行う。 ・気温が氷点下になった翌日には、園庭で氷や霜を見つけてみる。 ・水遊びで水鉄砲を使用する。 <p>○色水遊び</p> <ul style="list-style-type: none"> ・絵の具が水の中でひろがり、色水になっていく変化を見たり、色水を凍らせたものを画用紙の上で動かすことで色水になり、色がつくことなどの変化を楽しみました。 ・色水は、様々な色を混ぜて、どんな色になるのかを探究したり、水の量で色の濃淡が変わることがわかり、嬉しそうに見つけたことを伝える。 ・様々な形の容器を用意して、水を移したり、水の動きを楽しむ。 <p>○泥遊び</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タライに水を貯めて砂場に置いて自由に使えるようにすることで、砂場で水をたくさん使ってあそぶ。自分で様々な道具を使って、水をすくったり流したり夢中になる。砂場に穴を掘って水を流すと、はじめは水が溜まっているけれど、時間が経つにつれて水がしみ込んでなくなっていくことに気付く。 <p>○水の大切さを知る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・のどが渴いたので「水」や「お茶」を飲むと、元気がでたことに気付く。 ・外であそんだり製作あそびをしたりして、手が汚れた。水で手を洗ったらきれいになったことに気付き、手洗いの大切さに気付く。 ・水は自分の体に必要なことを知る。 		

★実践後の振り返り

様々な経験をする中で子ども達は、じっくり感触を確かめ遊ぶ。また、水遊びの経験から、雨の日に窓ガラスに雨粒がつくことやままごとのジュース(ペットボトルの中に水が入ったもの)が、窓からの日差しでキラキラ反射する様子に気づき、観察する姿も見られた。子どもたちの発見に寄り添ってみると保育者も予想しなかった遊びや活動に発展していた。

各年齢の子どもたちが毎日のように園庭で自由に遊ぶ中で、砂場で水を使ったり、草花や虫の観察を楽しんだり、四季折々の様々な自然事象を体感している。子どもたちの心身ともに健やかな成長には自然との関わりが欠かせないことを理解した。

今回の様々な経験を通して、子ども達に、わくわくとする好奇心がすくすくと育ったように感じたので、今後も子どもたちの興味や関心から取り入れていきたい。

